

## 【面接官の印象】

### 1. 外国人面接官の印象

60代以上のメガネをかけた女性で、恐らくアメリカ人と思われた。ゆっくり話してくれて、優しい感じで好感が持てた。質問も的を得たものであった。

### 2. 通訳ガイド

60代以上のメガネをかけた男性で、にこやかな感じは無く、顔つきはこわめでぶっきらぼうな感じであった。

### 3. 通訳試験について

#### 《出題された日本文》

日本では、お茶を飲む時や麺を食べる時やスープを飲む時に音を立てるのは、失礼な事では無い。むしろ主人のもてなしに対して、おいしいと言う意味を持っている。

#### 《自分の解答》

余り詳しく覚えていませんが、大体下記のように答えたと思います。

When you drink tea or soup and eat noodles, making noise or sound is not impolite manner in Japan. Instead, the manner rather imply tasty to the master's hospitality.

### 4. 2分間プレゼンテーションについて

#### 《出題されたトピック》

- ① 東海道五十三次
- ② 福袋
- ③ 草津温泉の説明と行き方

#### 《選択したトピック》

『東海道五十三次』

#### 《発表した内容》

3題とも想定していなかったのですが、迷いましたが、浮世絵に絡めて東海道五十三次にしました。内容は詳しく覚えていませんが、大体下記の通りです。

- ① 東京日本橋から京都までの宿場町の53箇所を五十三次と呼び、太平洋沿岸に沿って江戸時代に整備された。
- ② この中には、風向明媚な場所や名所旧跡が多く、浮世絵、和歌、俳句の題材に多く取り上げられた。特に浮世絵は安藤広重の描いた東海道五十三次が有名であり、53の宿場町が全て描かれ、当時の庶民の生活や衣服等詳細に判る。
- ③ 江戸時代には、参勤交代の制度で諸国の大名が東海道五十三次の宿場町で宿屋に宿泊し、宿場町とその沿道は潤い、日本の文化と情報の均一化に貢献した。

## 5. 質疑応答について

NS	浮世絵には、一般庶民と職人は、どの様に描かれていたか？
I	一例として、富士山を背景とした、富士山より大きな樽を作る職人が大胆に描かれていた。この大胆な構図は西洋の絵画とは大きく違っていた。浮世絵は西洋の印象派の画家達に大きな影響を与えた。
NS	富士山は東海道五十三次から全て見えていたのか？
I	全ての場所からは見えていない。昔の浮世絵が全て実際の景色を描いたものかは不明。
NS	富士山は東海道五十三次の何処で見えるのか？
I	静岡県で、箱根は逆さ富士が湖に映り、大変美しい。
NS	東海道五十三次は、今もあるのか？
I	今もあるが、主要な場所以外は、寂れている。時が経過している為。

## 6. 試験を終えての感想

2分間プレゼンテーションは、余り旨く説明出来なかったと感じたが、NSの質問で徐々に気分が解れて行き、明るく回答出来たかと思った。

TGは、最初の日本分を読むのと、2分間プレゼンテーションの選択の指示のみで質問には一切関与しなかった

今回初めての2次試験を受け、緊張したが、NSのお陰で最後は何とか乗り切れたかと思えます。